

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375900244
事業所名	グループホーム しはと

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) ・町内会に特別会員として加入し地域情報を得ている。地域の夏祭りでは事業所の前で太鼓奉納がされ、祭りの息吹を共に楽しむ場となっている。地域防災訓練に参加したり、夏休みボランティアの受け入れや認知症サポート養成講座の開催、誕生会へのお誘いなど中学校や小学校、保育園との繋がりも大切にしている。 ・事業所の感謝祭には家族や地域から多くの参加があり、バルーンアートなど地域の方がボランティアとして参加し、食事を共にするなど地域の一員として相互の交流を深めている。また、事業主催のコンサートには、地域の方も含め生のライブの雰囲気を楽しめることが出来た。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) ・入居者や家族、町内会役員、民生委員、市や包括支援センター職員の参加を得て年6回開催している。 ・事業計画報告、認知症や日々のケア、行事報告など、事業所の運営状況や課題などが議論されている。特に地域防災については熱心な話し合いがされ、地域との連携も強化されている。会議での意見は議事録にまとめられ、運営に反映している。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) ・運営推進会議に毎回市担当者及び包括支援センター職員が出席し、事業所の実情が伝わっている。認知症キャラバンメイトとして、連絡や調整などを積極的に行っている。幡豆町文化祭には公民館に、入居者の作品を出展している。市から研修案内があり、積極的に参加したり、情報交換や相談等をしたり、良好な関係が築かれている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) ・入居者の意見や要望は日常の会話や表情から把握している。家族からは面会に来た時に積極的に聞くようにし、申し送りノートに記入して、職員で話し合いケアや接遇などの改善に役立っている。 ・アンケートの実施や意見箱を設置したり、個別にも電話などで積極的に話を聞いたり相談を行っている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○		